はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は，管理機の正しい取扱い方法，定期的な点検及び整備について説明してあります。

本機のすぐれた性能を充分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただくとともに，日常の保守点検，整備，給油などを充分に行なって末長くご活用ください。

なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取り入れておりますので，お手元の管理機と，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

サービスと保証

この管理機には，保証書が添付してあります。詳しくは保証書を御覧ください。
なお，御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は，お買いあげいただきました御購入店・農協又は当社サービスステーションに，それぞれ「御相談窓口」を設けておりますのでお気軽に御相談ください。
そのさい　(1)管理機名称と車台番号，
(2)エンジン名称とエンジン番号，
を合わせて御連絡ください。

車台番号　J-1070
エンジン番号　J-1052

◆ 安全鑑定適合番号

クボタT32……………602009
クボタT32S……………602010
クボタT32H……………602011
クボタT32SH…………602012
クボタT32L……………602047
クボタT32SL…………602048
クボタT32HL…………602049
クボタT32SHL………602050

主要諸元

型式		T32	T32L	T32S	T32SL	T32H	T32HL	T32SH	T32SHL
機体寸法	全長(mm)	1430		1430		1430		1430	
	全幅(mm)	570		570		570		570	
	全高(mm)	1000		1100		1000		1100	
	輪距(mm)	210		250		210		250	
重量(kg)		50(ロータリなし)		52(ロータリなし)		55(ロータリなし)		57(ロータリなし)	
エンジン	名称	クボタGS160−T1				クボタGS200−TA			
	型式	空冷4サイクル1気筒立形ガソリンエンジン							
	総排気量(cc)	154				201			
	連続定格出力(馬力/回転毎分)	2.8/1800(クランク軸3600)(最大4.0馬力)				3.8/1800(クランク軸3600)(最大5.2馬力)			
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン							
	燃料タンク容量(ℓ)	2.3							
	点火方式	無接点式マグネト点火(トランジスタ，自動進角付)							
	始動方式	リコイル式							
タイヤ		3.50−5(C標準はホイルチューブ400付き)							
主クラッチ		ベルトテンション式							
変速段数	前進(段)	6							
	後進(段)	2							
	耕うん(段)	なし							
走行速度(km/時)		前進0.58〜6.57，後進0.70〜1.16(L仕様：前進0.97〜5.67，後進1.53〜3.05)							
PTO回転速度(回転/分)		低1071，高1766(L仕様：低1071，高1515)							

標準付属品

品名	数量/台	備考
10−12 スパナ	1	
13 スパナ	1	
14−17 スパナ	1	
ドライバ	1	＋，−差換え式
プラグボックス	1	
じょうご	1	
油差し	1	
取扱説明書	1	
純正部品表	1	
保証書	1	
納入品安全説明書	1	
安全注意ポスタ	1	
安全憲章コンブ	1	安全五憲章入り
ユニバーサルヒッチ	1	
ボルト(M12×45)	2	
ウエイト止めボルト	2	
ナット(M12)	4	

ご注意

★トレーラ走行はできません。

小型特殊自動車の認定を受けておりませんので，一般公道でのトレーラ走行はできません。

管理機

(Z)T32・32S・32H・32SH

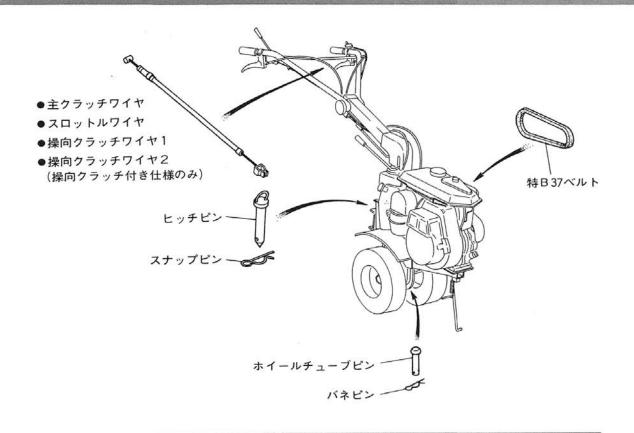
取扱説明書

久保田鉄工株式会社

本社：大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号　〒556-91　電(06) 648−2111
東京本社：東京都中央区日本橋室町3丁目3番2号　〒103　電(03) 279−2111
北海道支店：札幌市中央区北三条西3丁目1番地44(札幌富士ビル)　〒060　電(011) 214−3031
東北支店：仙台市本町2丁目15番11号　〒980　電(0222) 25−8151
名古屋支店：名古屋市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)　〒450　電(052) 563−1511
九州支店：福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命博多ビル)　〒812　電(092) 451−1121
サービスステーション
名取・名取市田高字原182番地の1　〒981-12　電(02238) 4−5151
秋田・秋田市寺内字大小路207番54　〒011　電(0188) 45−1601
水戸・水戸市千波町1954−1　〒310　電(0292) 41−3141
浦和・浦和市大字西堀字桜田1228番地　〒336　電(0488) 62−1121
新潟・新潟市上所島字上所上1番　〒950　電(0252) 85−1261
名古屋・愛知県一宮市観音町1番地の1　〒491　電(0586) 24−5111
金沢・松任市下柏野町956−1　〒924　電(0762) 75−1121
岡山・岡山市宍甘275番地　〒703　電(0862) 79−4511
米子・米子市米原569番地　〒683　電(0859) 33−5011
福岡・福岡市東区大字下和白字蒲地開　〒811-02　電(092) 606−3161
熊本・熊本県下益城郡富合町大字廻江846の1　〒861-41　電(0963) 57−6181
高松・高松市藤塚町1丁目11番23号　〒760　電(0878) 31−8171
堺製造所：堺市石津北町64番地　〒590　電(0722) 41−1121
宇都宮工場：宇都宮市平出工業団地22の2　〒321　電(0286) 61−1111
筑波工場：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地　〒300-22　電(029752) 5111
枚方機械製造所：枚方市中宮大池1丁目1番1号　〒573　電(0720) 40−1121
堺部品センター：堺市神南辺町2丁76−2　〒590　電(0722) 29−5501
宇都宮部品センター：栃木県河内郡河内町白沢1819−1　〒329-11　電(02867) 3−1521
北海道部品センター：北海道札幌郡広島町字大曲186−37　〒061-12　電(01137) 6−2335
筑波部品センター：茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地　〒300-22　電(029752) 5111
枚方部品センター：枚方市中宮大池1丁目1番1号　〒573　電(0720) 40−1121
クボタトラクターコーポレーション(アメリカ・カリフォルニア州)・カナダクボタトラクター販売(株)(オンタリオ州)
ブラジル久保田鉄工(有)(サンパウロ市)・ヨーロッパクボタトラクター販売(株)(フランス・アルジャントゥイユ市)
イランクボタ(株)(ガズビン市)・インドネシアクボタ農業機械(株)(セランゴール州)・タイクボタトラクター販売(株)(バンコック市)
クボタマルスチール農業機械(株)(フィリピン・マニラ市)・新台湾農業機械(株)(高雄市)

品番61321−6321−4. M. ＋. 7−11. 20. Ⓐ

主要消耗部品

特別付属部品

品番	品名	備考	兼用機種
61321−83402	バランスウエイト完備	下記①②の部品とボルト・ナット	新採用
61321−83511	①ウェイト支持棒		〃
61011−51213	②バランスウエイト	5kg	(Z)T3
61321−83601	フロントヒッチ完備95	下記①，②，③のバランスウエイト取付可。フロントヒッチ・ボルト・ナット・バネ座金	新採用予定
62081−81200	①バランスウエイト1アッシ	12kgヒッチボルト・ヒッチピン付	〃
62081−81400	②バランスウエイト2	8kgピン付	〃
62081−81100	③バランスウエイト完備	12kg＋8kg＝20kg	〃
61321−83101	フロントヒッチ完備	61321−52212フロントヒッチ＋ボルト・ナット・バネ座金	新採用
61041−83461	プーリボス	主軸右装着　動力取出用	(Z)T3
61041−83401	ヒラプーリボス完備	〃	(Z)T3
61041−17143	ホイルチューブ400	チューブ長さ 138mm	(Z)T3
61041−83713	ホイルチューブ600	チューブ長さ 238mm	(Z)T3
61041−83723	ホイルチューブ800	チューブ長さ 338mm	(Z)T3
61041−83741	マルホイルチューブ6	チューブ長さ 187mm PC用アタッチメント装着用	(Z)T3
61041−83751	マルホイルチューブ2	チューブ長さ 97mm PC用アタッチメント装着用	(Z)T3
61041−83804	ユニバーサル2段ヒッチ完備	延長ヒッチ，草地・湿田でのロータ作業	(Z)T3
61041−83760	スリーブ	スリーブ長さ 50mm カルチ車輪関係車軸取付け用	(Z)T3

安全に作業するために

安全運転のために，次のことがらを必ず守ってください。

耕うん機・管理機✚安全五憲章

1. 道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは，必ずロータリの回転を止めます。
2. 農道を走行するときは，スピードを落とし路肩に注意します。
3. ほ場の出入り・車への積降しは上りは前進，下りは後進で行ないます。
4. バックをするときは，スピードを緩め背後の障害物に注意します。
5. 機体の点検・調整・整備は必ず，エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

1. はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。
そして機械を点検し，異常箇所がないか確めめてから使用してください。

2. 燃料の給油とエンジンの始動

(1)燃料補給をするときは，必ずエンジンを停止して行なってください。
(2)密閉した車庫内で長時間エンジンをかけたままにしておくと空気を汚し，ガス中毒を起こす危険があります。
(3)エンジンを始動するときは，クラッチを切り，主変速レバーを「中立」にしてから行なってください。

3. 始動

発進するときは，周囲の安全を確かめ機械の付近に人が近づかないようにしてください。
また，バックするときには，足元・後方をよく確かめてからエンジンを低速にしてバックしてください。

4. 作業中

(1)傾斜地で作業したり重い荷物をけん引するなど，無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。
(2)安全カバーなどを取りはずした状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。
(3)共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。
(4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

5. 積込み・積降ろし

(1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。
(2)積込み・積降ろし中にトラックが移動しないように，必ずトラックのエンジンを止め，サイドブレーキを確実にかけてください。

6. 走行

(1)6速で道路走行中，操向クラッチは切らないでください。急旋回は危険です。
(2)下り坂では，クラッチを切ったり，変速を中立にするとスピードが出すぎて危険です。また操向クラッチを切ると逆方向に急旋回し危険です。
(3)高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあり，必ずアユミ板を使用してください。
(4)一般道路上では，自動車に道を譲るなど交通法規・交通道徳を守ってください。
(5)カーブでは速度を落としてハンドルを操作してください。

7. その他

(1)次のような状態では運転しないでください。
- 飲酒運転
- いねむり運転
- 病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
- 妊娠中の方

(2)だぶついたズボンや上着など回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。
(3)点検・整備・清掃などは必ずエンジンを止めてから取扱説明書に従い行なってください。
(4)作業中，または作業後に高温部分（マフラなど）に触れるとヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。
(5)機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，あらかじめ「取扱説明書」「納入品安全説明書」を読むように指導してください。

★以上，機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で 安全ポイント として，その都度とり上げております。
更に，安全のポイントを抜粋した「安全注意ポスタ」・「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

主要アタッチメント

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
耕起	角ロータ	一般耕起	4〜5	1.畑・水田の，耕起・砕土・整地作業に適し良い作業ができる。2.推進力が大で安定作業ができる。
	ラグロータ	一般耕起	4〜5	1.推進力が大で安定作業ができる（特に傾斜地・砂地・軽しょう土・湿田での耕うんに最適）2.分割式で作業に応じてドラムが分割できる。

ラグロータ＋抵抗棒

ラグロータ＋スプリングレーキ

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
砕土整地代かき	角ロータ スプリングレーキ	整地	4〜5	1.土・雑草のからみが少ない。2.スプリング効果で砕土性が良い。
	代かき車輪(ホイルチューブ) スプリングレーキ	代かき	4〜5	1.土の付着がなく，わら・雑草の巻付きがない。2.代かき・砕土効果が良好で，土の反転性が良く，代かき作業に適する。
	田打ちロータ(ホイルチューブ) 抵抗棒	代かき	4〜5	1.浮力・推進力が大で楽に作業ができる。2.取付け・取扱いが容易です。
	ラグロータ スプリングレーキ	整地	4〜5	1.土・雑草のからみが少ない。2.スプリング効果で砕土性が良い（特に傾斜地性能が良好）3.推進力が大で安定作業ができる。

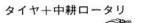
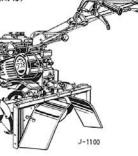
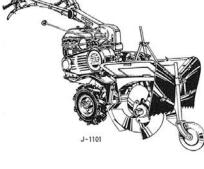
代かきロータ＋ナタ刃ハロー(T3兼用)(ホイルチューブ)

田打ちロータ＋湿田抵抗棒(T3兼用)(ホイルチューブ)

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
マルチ	高うねマルチ マルチ車輪(ホイルチューブ)	マルチ作業	1	1.シート両端はとゆ状に土を埋め込むので，風などで飛ばない。2.能率よくビニールシート被覆ができます。
	中耕ロータリ 平うね同時マルチ	マルチ作業	1〜2	1.平うね作りと同時にマルチ作業ができる。2.センタドライブ方式で耕幅調節が可能です。
中耕除草	フロンタリ	除草	R1	1.アップカット方式で動力消費が少なく，ドラム爪なので中耕・除草に適する。
	草削りカゴロータ 抵抗棒	除草	6	1.軽量で取扱い・取付けが容易です。2.爪があるため，草削りの他に砕土効果もあります。

フロンタリ

草削りカゴロータ＋傾斜地用抵抗棒(T3兼用)

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
土揚げ	390鉄車輪 土揚げロータリ	ネギ その他の土揚げ作業	R1	1.アップカット方式のため土の揚がりがよい。
	中耕ロータリ	除草 耕起 うね盛り	1〜2	1.補助羽根が開閉式で，うね盛り・土寄せ作業に適す。2.取付け・取扱いが容易です。
播種	種まき ごんべえ	播種	1〜4	1.本機への取付けがピン1本で簡単にできる。2.播種ムラがない。3.うねに凹凸があっても一定の深さの溝が切れる。
	テーパカルチ車輪 作溝器	中耕 除草	3	1.スキ先がシャープで土の流れが良好です。2.けん引力大で輪距が小さくなります。

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
うね立て	角ロータ うね整形板	耕起	4〜5	1.うね形状はうね肩に肉の付いた，かまぼこ形のうねができる。
	中耕ロータリ 組合せラセン	うね盛り	R1	1.ハウスの支柱から片側に溝上げができる（右側ラセン2コ使用）2.うねの幅は作物に合せ簡単に調整できる。

作業	作業機組合せ	用途	変速位置	内容
中耕除草培土	カルチ車輪 カルチベータサポート	除草 中耕	3〜4	1.両サイド爪間隔が調整できる。2.けん引力大で直進性が良好です。
	カルチ車輪 差込み培土機	除草 中耕	3〜4	1.尾輪付きで安定性が良く楽に作業ができる。2.うねがきれいに仕上ります。
	カルチ車輪 中耕ロータリ 作溝機	除草 中耕	3〜4	1.スキ先がシャープで土の流れが良好です。2.センタドライブ方式で耕幅調節が可能です。
	中耕ロータリ ハウスラセン うね整形板	うね盛り	1〜2	1.うね盛り板を左右に入替え培土もできる。2.ハウス支柱から片側に溝上げができる。

タイヤ＋中耕ロータリ

テーパカルチ車輪＋4号作溝器(T3兼用)(ホイルチューブ)

角ロータ＋土寄せ板＋うね整形板(T3兼用)

組合せラセンタバコ＋ハウスロータリ

※ロータリ類は，T32専用採用しておりますが91201−2061−0　R32ロータリ用ステーを別途購入になれば，T3のロータリがT32に使用可能です。

ホークカルチ車輪＋差込培土器(T3兼用)

運 転 装 置 の 説 明

スロットルレバー
エンジンの回転速度を調節します。

エンジン停止ボタン

主クラッチレバー
エンジンからの動力を断続します。
〔(Z)T32S•(Z)T32SH〕〔(Z)T32•(Z)T32H〕

レバーを握るとロックレバーが作用して，手を離しても戻りません。
ロックレバーを手前に引くと，レバーが戻って主クラッチが切れます。

安全ポイント
●傾斜地，狭い場所で作業する場合や後進するときなど，ハンドルが持上がり危険ですので，主クラッチはゆっくり操作してください。

操向クラッチレバー(左)
〔(Z)T32S·(Z)T32SH〕
握ると左に旋回します。

安全ポイント
●坂道，傾斜地で操向クラッチを切ると，急激に機体の方向が変わって危険ですから，ハンドルのみで操作してください。

操向クラッチレバー(右)
〔(Z)T32S·(Z)T32SH〕
握ると右に旋回します。

ハンドル上下調節ノブ

ハンドル回動レバー

主変速レバー

Vベルトを「高」「低」にかけ替えることにより，前進6段・後進2段の変速ができます。
作業に適した速度をお選びください。

【注意】
●前進・後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。

チョークレバー

リコイルスタータハンドル

燃料コックレバー

運 転 の し か た

エンジンの始動前には，必ず仕業点検を行なってください。

エンジンの始動

❶主クラッチレバーが「切」，主変速レバーが「中立」の位置にあることを確認します。

❷燃料コックを開きます。

❸スロットルレバーを「高」と「低」の中間の位置にします。

❹チョークレバーを「閉」にします。
●エンジンがよく暖っているときは，チョークの操作は不要です。

❺リコイルスタータハンドルを握って，勢いよく引張ります。
●エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。

❻エンジンの運転調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。(開く)

❼2～3分間暖機運転を行なってから，作業を始めてください。

安全ポイント
(1)マフラの排気出口方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
(2)リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。
(3)エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。

エンジンの停止

❶スロットルレバーを「低」にします。

❷停止ボタンを押すと，エンジンが停止します。

❸燃料コックを閉じます。

安全ポイント
●エンジン停止直後は，マフラが熱くなっていますから，手を触れないようにしてください。

注油箇所

オイルの種類	給油量
クボタ純オイルG 30	適量

■クラッチレバー支点

■各種ワイヤ

調節金具の個所に注油口があります。

■テンションプーリ支点軸

安全ポイント
●ベルトカバーを取りはずした場合は，必ず取付けてからエンジンを始動してください。

■その他のしゅう動部の注油

その他の各しゅう動部分には，オイルを適量注油してください。

管理機を安全に調子よく長持ちさせるには

安全ポイント　給排油・点検・調節・清掃中はエンジン停止。

仕業点検(毎日始動前の点検)

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
毎日始動前に，必ず仕業点検を行なってください。

1. 前日使用の異常箇所。
2. 燃料は充分か。
3. エンジンオイルの量，及び汚れ。
4. ミッションオイルの量，及び汚れ。
5. エアークリーナエレメントの汚れ。
6. タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷。
7. 各しゅう動部（主クラッチ，テンションアーム支点軸，ワイヤなど）にオイル切れがないか。
8. 各部の油もれ。
9. 各部の損傷，及びボルト，ナットの緩み。

ならし運転
(最初の10アール程度使用まで)

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ，無理をさせないようにしましょう。

燃料の給油

安全ポイント
(1)給油中はエンジン停止・火気厳禁，くわえ煙草での給油はしないでください。
(2)燃料がこぼれたときは布切れなどでふきとってください。

前スタンドを立てて機体を安定させ，給油口からこし網を通して給油してください。

燃料の種類	規定容量
自動車用レギュラガソリン(無鉛)	約2.3ℓ

【注意】
●燃料タンク内にゴミや水が混入しないように注意してください。

オイルの点検と交換

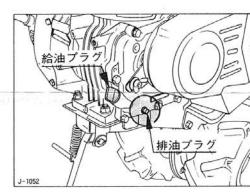
項目	点検方法	交換 第1回め	交換 以後	オイルの種類	規定量
エンジンオイル	エンジンを水平にして，給油口の口元まで。	20時間使用後	50時間使用ごと	クボタ純オイル(ガソリン・灯油エンジン用)冬G 20，夏G 30	0.6ℓ
ミッションオイル	スタンドを立てた状態で，検油口からあふれ出るまで。	20時間使用後	年1回	クボタ純オイルM90又は，M80B(ミッション用)	2.6ℓ

オイルを交換する場合は，まず旧油を排出しますができるだけケース内のゴミも同時に排出させるために，運転使用後，オイルが暖まっている状態のとき，排出してください。

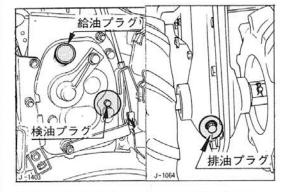
■エンジンオイル

◆給油のしかた
前スタンドを立てて，スタンドの下に台をおき，エンジンを水平にして，給油口の口元まで入れてください。

【注意】
●粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，御購入店・農協でクボタ純オイルG 20又はG 30と指定の上，お求めください。

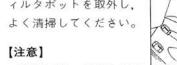
◆排油のしかた
前スタンドを立てて，排油プラグを取外し，排出してください。

■ミッションオイル

◆給油のしかた
前スタンドを立てた状態で給油プラグをはずし，検油口から油があふれるまで給油してください。

◆排油のしかた
できるだけ機体を後に傾けるようにして，排油プラグを取りはずし，排油してください。

使用後の清掃

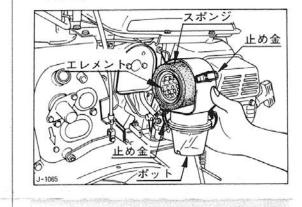
使用後は必ずその日のうちに清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部は錆びないよう油を塗布してください。
特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因となりますので，よく点検，清掃を行なってください。

フューエルフィルタの清掃

フィルタ内に水やゴミがたまっているときは，フィルタポットを取外し，よく清掃してください。

【注意】
●取付け時，燃料もれのないように完全に締付けてください。

エアークリーナの清掃

止め金を外し，エレメントを取出して清掃してください。(50～60時間使用ごと)

(1)内側エレメントは，叩いてホコリを落します。
(2)外側スポンジは，ガソリンで洗浄した後，エンジンオイルに浸し，固く絞って使用します。
(3)ポットにたまったゴミは，止め金を外して掃除します。
(4)エレメントは，6回清掃又は1年ごとに交換します。

長期格納時の手入れ

使用後の清掃と同じく，各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし，各部の水分を乾いた布などで充分にぬぐい取り，摩擦しゅう動部，及び塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。
その他，次の事項について手入れしてください。

(1)主クラッチレバーは「切」の位置にして，保管してください。
(2)燃料を完全に抜き取ってください。
(3)エンジンオイルを交換し，各部をきれいに清掃します。
(4)エアークリーナエレメントは，きれいに清掃してください。ゴミがこびりついて次回の使用の際，清掃が困難になります。
(5)エンジンのシリンダ内に湿気が入ると，来期の始動が困難になるので，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置にしておいてください。
(6)カバーをかけ，湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーはエンジンが冷えていることを確認した上で，かけてください。

■燃料の抜取り

使用後，燃料をそのままにしておきますと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になることがあります。
気化器内のガソリンは矢印の排出ねじをゆるめてガソリンを抜取り，燃料タンク内はパイプなどを使用して全部抜取ってください。

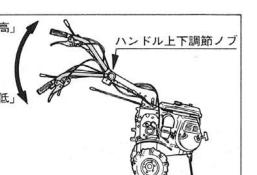
安全ポイント
●燃料がこぼれたときは，布切れなどでふきとってください。

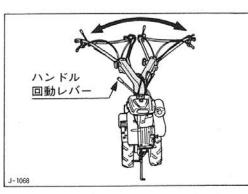
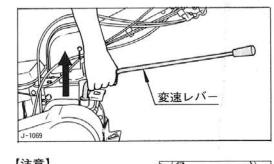
各 部 の 調 節 の し か た

安全ポイント　点検・調節・取付け・取外し中はエンジン停止。

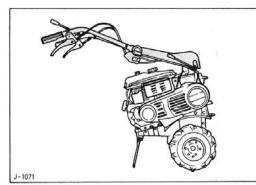
ハンドル位置の調節

■ハンドルの上下調節

ハンドル上下調節ノブをゆるめて，お望みの高さに調節してください。

■ハンドルの回動

❶ハンドル回動レバーを持上げることにより，左右それぞれ1段階に角度の調節ができます。

❷変速レバーの根元を持上げて，ハンドルを調節した位置へ合わせてセットしてください。

【注意】
●ハンドル中央位置のみで長期間使用するときは，必ず固定ボルトを締付けて使用してください。
固定ボルトは付属品箱の中に入っております。

■ハンドルの逆向き

❶変速レバーを「中立」にします。
❷ハンドル回動レバーを持上げて，ハンドルを左方へ回動すると，逆向きになります。
❸変速レバーの，根元を持上げて逆向きにします。

❹ハンドルを前向きに戻すときは，上記の逆の順序で行なってください。

【注意】
(1)操向クラッチの左右は，ハンドルの回動により，自動的に切換わりますので，操向クラッチワイヤは左右逆に取換える必要ありません。
(2)回動中は，操向クラッチレバーは握らないでください。
(3)変速レバーが3・4・5・6速に入っている場合は，けん制カムにて回動できません。「中立」に戻してください。
(4)ハンドルを逆向きにした場合は，高速側に変速できません。(高速けん制装置)

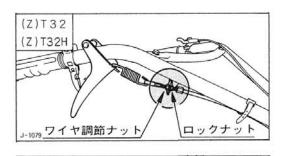
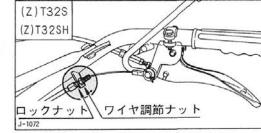
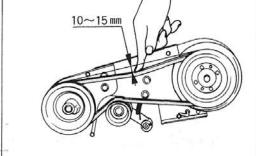
安全ポイント
●ハンドルを逆向きにするときは，確実に180度回動してください。途中で止めると，操行クラッチの，左右自動切換装置が作動しないことがあります。
特に，逆向きで右に回動して使用するときは，注意してください。

主クラッチの調節

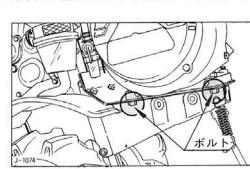
主クラッチレバーは，運転操作の源となる重要なレバーですので，確実に断続できるように，次のことがらについて調整してください。

■主クラッチワイヤの調節

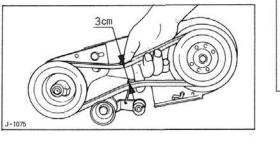
主クラッチを入れてもベルトがスリップして動力を伝達しない場合，また主クラッチを入れるとベルトが張りすぎてレバーが重すぎるような場合などは，ワイヤ調節金具でテンションプーリを調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具を短くする。
適正なベルトの張り	主クラッチを入れた状態でベルト中央部を指先で押えて10～15㎜たわむ程度。

テンションクラッチ「入」の状態でベルト押えと，ベルトが離れ，テンションクラッチ「切」の状態で，ベルト押えが，ベルトを軽く押える程度に調節し，つれ回わりのないようにして下さい。

■エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びてワイヤ調節金具で調節できない場合は，エンジン固定ボルト4本と燃料タンクステー取付けボルトをゆるめて調節してください。
調節後は確実にボルトを締付けてください。

【注意】
●エンジンを移動させる場合，主クラッチワイヤ調節金具のねじ部が5㎜位出ているようにセットしておいてください。

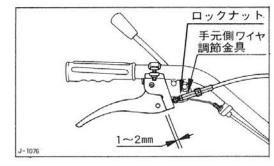
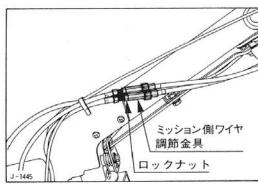
■新しいベルトに交換する場合

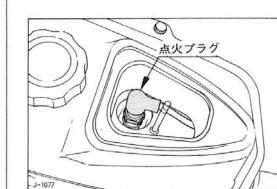
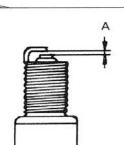
新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間が約3㎝たわむぐらいにして，エンジン固定ボルトと燃料タンクステー取付けボルトを締付けてください。

【注意】
●ベルトは低速側プーリに掛けて調節してください。

操向クラッチの調節
〔(Z)T32S・(Z)T32SH〕

操向クラッチレバーを握っても，操向クラッチが切れにくい場合，又レバーを放しても入りにくい場合，及びハンドル逆位置のときに戻りにくい場合は，ワイヤ調節金具のロックナットを緩め，調節金具を回して調節してください。

切れにくい場合	調節金具を長くする。
戻りにくい場合	調節金具を短くする。
ハンドル逆位置のときに戻りにくい場合。	ミッション側ワイヤの調節金具を短くする。

調節後は，ロックナットを確実に締付けてください。

点火プラグの調節・清掃

タンクカバー締付け用マスコットネジをはずしてタンクカバーを外し，プラグ用ボックススパナでプラグをはずして，清掃してください。
電極間隔を調節する場合は，下表の寸法に調節してください。
点検調節は6カ月に1回，行なってください。

【注意】
(1)締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。

	(Z)T32 (Z)T32S	(Z)T32H (Z)T32SH
使用点火プラグ	NGK BP4HS−10 又は デンソー W14FPUL−10	デンソー W14F−U
電極間隔"A"	0.9～1.0㎜	0.6～0.7㎜

安全ポイント
(1)調整と各部の締付けが終ってからの確認は，主クラッチを切り，エンジンを始動して，主クラッチを「入」のときベルトが作動し，「切」のときに停止するか確認してください。
(2)調整，掛換えが終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。